

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名前	服部 洋一		所属	教育学部 学校教育教員養成課程 音楽教育専修	職名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・学生支援	0.30	①コメント・カードや受講ノート等によって学生からの積極的な意見聴取に努める。学生より得られた感想・意見を考慮し授業の改善(設備の充実も含めて)に努める。②オフィス・アワーに関しては学生からの要望がある時にその都度こまめに設定し、学習相談に大いに役立てることとする。③自己の専門分野における研究もしくは学際的分野における経験によって得られた事柄を実際の授業においても積極的に取り入れる。④大学院生を積極的にTAとして用い、もしくは外部専門家を非常勤としてTTとして登用し、意見交換・協働作業・助言をとおしてたがいの教育能力の資質向上に努める。⑤FD授業開催や、FD授業への参加などを年度内最低1回の達成。⑥パリンガル授業(前期2コマ)を継続し、実技面で困難に感じていることはないかを常にチェックし、彼らの練習楽器(ギター)と練習場所を好意的に確保する。⑦自己の所属する専修の学生への教育指導ばかりでなく、心理臨床科学コースの協力教員として学生の教育、フィールド実習指導、論文指導に協力する。		0.30	①学生から聴取した意見を授業に活かし、また、授業の進め方に重きを置いた論文(教育学部音楽科論集第4集、2015年12月発行)にも活かすことができた。②学生との個々のアポイントのもとに設定したオフィス・アワーでは、学生の日々の悩みのカウンセリングを行い、アドヴァイスも行った。特に平成27年度は牛学の計画のために休学を申し出る学生の相談に応じた。学生本人とどうしても連絡が取れないときに限り学生の保護者とも連絡を取り合い、学生のケアに努めた。③大いにこれに努めた。④TAは前期において大学院生に協力を要請し、本人の成長にも役立ったと感じている。後期に外部講師とのTTによる「子ども文化とコミュニケーション」(学部共通科目)を行っているが、正規の非常勤の他にも、ボランティア講師からの協力を多々受けることができ、情報交換を含めつつ、有意義に授業を進めた。⑤④の後半がこれに相当する。⑥大いにこれに努めた。⑦協力教員となっていた心理臨床科学コースの学生のアンケート調査に授業を提供し、また音楽療法的フィールドへ表敬とフィールド観察を行った。平成27年度は心理の卒業論文3編に副査として論文査読を行っている。	
研究	0.50	①年度内最低1回の学会誌もしくは高等教育機関の紀要等への投稿。②年度内最低1回以上の研究発表(リサイタルまたはジョイントコンサート)を外部ホールにも含む。③自らの専門分野の研究(研究の成果を応用する教育活動も含む)の意義を外部に対して発信し、理解を得るとともに外部資金獲得に積極的に行動する。④本学法文学部国際言語文化学科2年次の英語劇ミュージカル指導をおして国際言語学科所属教員と共同研究(分担指導作業)をおこなう。⑤毎年行っている「琉大ミュージカル」の授業の成果発表(8月)、音楽科の成果発表としての「音楽科発表会」(3月)においてパンフレット掲載のスポンサー広告掲載費を外部資金として獲得し、それぞれの発表会の運営費に充てていく。これらのチケット収入に関しては、大学プロジェクト寄付金として一端預け、翌年のそれぞれの運営基盤経費に充てていく。		0.50	①今年度は、音楽科論集第4集へ「声楽の見地からのギター弾き語り初歩」をテーマに、80ページに及ぶ論文を投稿し発刊された。②2015年11月にソル・リサイタルを開催(於:佐敷町シュガーホール)その他、沖縄県立芸術大学教員2名(豊田喜代美、佐久間龍也)と本学教員2名(上原由記音、服部洋一)によるフレンドシップ・コンサートジョイントコンサートを県芸楽堂で行い、東京では3回(名取ピアノサロンコンサート、としまコミュニティ大学開講式コンサート、東京音楽大学ライブラリー・レクチャー・コンサート)を行った。③「服部洋一・ソル・リサイタル2015in Okinawa」において、外部スポンサーより資金を獲得し、公演運営費の一部に当てた。④英語劇2015に関しては現在学生の歌唱指導を中心に関わっている。⑤「平成27年度琉大ミュージカル」(8月)において外部スポンサーより資金を獲得し、公演運営費の一部に当てた。近年は、円安のために海外からレンタルする台本・オーケストラ・マテリアルのレンタル料が高騰し、公演のための収支において余剰金がほとんどないため、大学への寄付にまで至っていない。	
社会貢献	0.10	①コンクールの審査等を通して、学外の音楽文化振興団体の主催する審議会に参画する。②専門分野における資料収集のため学外(海外を含む)への研究調査を積極的に行う。③小・中・高等学校からの依頼に応じて、専門分野の技術・理念を分かち合うワークショップ・後援会等を行う。④地域(海外を含む)における生涯学習の音楽活動に対し歌唱法・演奏法指導にも携わる。⑤国際貢献に関しては④に準ずる。⑥地域貢献に関しては③に準ずる。⑦所属専修(心理臨床科学)に関わるテーマに関して学外者・産業界関係者等より依頼があれば、カウンセリング等を行う。⑧本務に圧迫を与えない限りにおいて、兼任先(東京芸術大学、東京音楽大学、等)における教育活動を積極的に支援し、研究発表活動などの企画も行う。⑨二期会、東京室内歌劇場などプロフェッショナル・オペラ・プロデュース団体に所属する歌手たちの指導、音楽会の監修を行う。		0.10	①「NHK学校合唱コンクール」審査委員を務め、中学校の部では、当日ステージ上で全体講評を述べた。②西原町役場生涯教育課の推進する市民ミュージカル「にじいろファクトリー」にて音楽監督兼出演を行い、地域文化推進に協力した。③今年度は、地域の中学校音楽教員に呼吸法・発声法を含めた合唱指導法をインストラクトし、その技術と着眼点をもとに勤務校の全校合唱を指導し、地区大会優勝、県大会最優秀賞を獲得し、中学校合唱として代表に選ばれ、全琉音楽祭に推薦出場を獲得。全琉音楽祭では対馬丸和賞を授与された。附属小学校合唱祭のための全担任教員への指揮法指導を行った。④及び⑤台湾SGI青年部太平洋合唱団の指導に通った。先方からは年に8回は来台してほしいと依頼されているが、平成27年度は自己のリサイタル、ジョイント・コンサートが多く、訪台数はそれを下回った。⑥に関しては③に準ずる、間接的貢献ととらえている。⑦学外者の仕事の悩み人生相談などに時間の許す限り対応し、カウンセリングとアドヴァイスを行った。⑧東京音大大学院では、登録生と聴講生によるスペイン歌曲研究発表会をそれぞれ1回ずつ行い(企画・監修・実技指導)、東京藝大でも2月7日にスペイン歌曲研究発表会を執り行うこととなっている(同じく、企画・監修・実技指導)。⑨二期会スペイン音楽研究会にて、今年度は主にオペラとグラナダの歌曲の指導・監修に当たり、当研究会はそれらをレパートリーに含むプログラミングで演奏会を数回行った。	
管理運営	0.07	①全学的委員会及び学部内の委員に選出された場合は、責任を持って役割を遂行する。可能な限り会議に出席し、内容を所属専修に伝達報告し、協議事項を会議に提出し、回答を委員会へ持ち帰るよう責務を遂行する。②大学院教員組織(音楽教育専修)上の務めを果たし、音楽棟の安全・資産管理、予算の発案管理に積極的に参与する。③入試業務における役割分担を責任を持って遂行する。		0.07	①本年度は学部改組の時期に当たり、主任業務、各種委員会業務ともに多忙を極めた。やむなく欠席した委員会もあったが、事務より資料をすぐに入手し、学科の意見を聴取し、まとめ、報告に努めた。主任には秘書をつけてもらいたいと痛感した。②これに対して鋭意努力、実行した③同左。	
その他	0.03	①就職関係:就職、教員採用試験関連の諸行事に関して、主任として各年次指導教員、音楽科学生へのインフォメーション呼びかけを積極的に行う。②音楽療法的フィールドへの在学生の積極的なボランティア参加を促し、施設関係者への学生の資質アピールに努める。③音楽療法関係:現在まで行ってきた、高次脳機能障害、脳幹障害患者施設等への音楽療法的介入を継続し、機能回復等の診療・医療活動を推進する。		0.03	①就職関係に関しては、特に教員採用試験受験者のために歌唱指導、ピアノ弾き歌い指導に特別レッスンを組んで、指導を行った。就職ガイダンス、インターンシップに関しては、各学年担任教員との連携を取りつつ進めた。③主任業務に追われ、音楽療法的フィールドへは、今年度はなかなか足を運ばなかった。現在学部改組へ向けて、心理臨床科学コースをたたく方向へ準備を進めており、過去において開拓したフィールドを、どのように責任をもって他者にバトンタッチしていくかを考慮中である。	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	

※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。

学外公表に同意しない。

学内公表に同意しない。

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)							
名 前		花城 梨枝子		所 属	教育学部 学校教育教員養成課程 生活科学教育専修	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.20	授業内容に最新のデータを使う。		0.10	授業には常に最新のデータを使った。		
研究	0.10	消費者市民教育について研究をすすめる。		0.10	<p>●『九州における消費者教育30年の歩みー消費者市民社会の構築に向けてー』(花書院, 2015. 3. 31)の後編, 「4. 学会奨励賞を受けて～次世代を牽引する」と「5. 新入会員を迎えて～私の研究活動～」, 2つの章の編集を行った。</p> <p>●個人での執筆は花城梨枝子「「消費者教育」から「消費者市民教育」へー研究を振り返って」(138-147)</p>		
社会 貢献	0.20	日本消費者教育学会理事 NPO消費者市民ネット沖縄理事 沖縄クレサラ被害をなくす会幹事 沖縄県消費生活審議会委員		0.30	<p>●日本消費者教育学会理事として、九州大会(会場:佐賀大学)を成功させた。●NPO消費者市民ネット沖縄の理事として、現在消費者庁認定の適格消費者団体の申請を年末に提出した。これがパスすれば、4月以降九州地区での4番目の、差し止め請求権を持ち、消費者団体訴訟制度を担うことのできる消費者団体となる。1月に消費者庁からの指摘事項を受け活動実績の修正積み上げ中である。●沖縄県消費者生活審議会委員として、沖縄県の消費者教育推進法の制定に尽力した。それとの関連で、●沖縄県の消費者フェスタで11/3(那覇にいる)、11/23(嘉手納中央公民館)、12/6(名護市民会館)でのシンポに参加した。●文科省委託事業:かごしま消費者教育フェアでの基調講演(2/20:かごしま県民交流センター)を予定している。</p>		
管理 運営	0.40	琉球大学附属図書館長		0.40	<p>附属図書館長に伴って教育研究評議会をはじめ●6つの全学委員会の委員、●4つの図書館内の委員会委員長をしている。以前に男女共同参画の室長をしていた関係で、●ダイバシティ関連の全学委員会2つの委員をしている。</p>		
進路 就職 支援	0.10	教員を目指す学生の教員採用試験支援 進学する学生の教育支援		0.10	<p>4年次指導教員(学生6人)なので、学生とこまめに面談して相談を受けた。進学する学生についても同様に、どこの大学を受けるか将来どうするかについて相談を受け横浜国大大学院への進学が決定した。全員の卒業後の将来を見据えた支援を最大限行いたい。</p>		
計	1.00	<p>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</p> <p>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</p> <p>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</p>		1.00	<p>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</p>		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		上間 陽子	所 属		教育学部 子ども地域教育	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.30	指導教員である2年次への履修指導や、院生ならびにゼミ生への指導を行う。なお、今年度も現職教員を院ゼミで担当しているため夜間の授業・休日の授業というかたちで対応する。			0.30	実施した。		
研究	0.50	科研基盤C(代表)、基盤B(分担)の仕事がそれぞれ2年目となるので、それについて以下の仕事を行う。C:沖縄県教育庁義務教育課依頼の学力テストの分析ならびに報告会を実施、日本教育社会学会依頼原稿提出【5月】、雑誌「共育者」原稿【5月】、日本生活指導学会依頼原稿提出【10月】、B:東京大学出版会から出版予定のYCSJ調査の原稿(家族変化の章を担当)を提出【8月】をそれぞれ実施する。			0.50	すべて実施したが、YCSJの出版が遅れており未刊行となっている。予定していた以外には、学力テストの報告書(2)ならびに教員向けパンフレットを作成中。報告書では県依頼の汎用性の高い問題群の抽出、教科プロパーによる分析会を11月に実施。2月に報告書・パンフレットを刊行する。		
社会 貢献	0.10	珊瑚舎スコール夜間中学校にてフィールドワークの授業を実施。			0.10	実施した他、国連の人権諮問機関のヒヤリングに協力した(10月)。		
管理 運営	0.10	子ども地域教育教室2年次指導教員。			0.10	実施した。教職大学院への移動が決定し、そちらのほうの準備も手がけている。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		伊藤義徳	所 属		教育学部生涯教育課程心理臨床科学コース	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.40	10名の学部生, 8名の修士課程学生の研究指導を全うする。 コース主任として, コース学生の教育, 研究, 生活環境, 安全に配慮する。			0.40	タイへの研修旅行をつつがなく終えることができた。 5名の卒業研究を無事提出させた。 修士2年次の木甲斐智紀が優秀学生表彰を受けることとなった。		
研究	0.20	科学研究費補助金の補助を受けている研究課題「コンパッションに基づくいじめ予防教育プログラムの開発と普及(基盤(C))」は4年間の内3年目となる。本課題の核となる研究を行う。			0.20	本研究課題に関連した研究発表を4件行った。 新たな研究を3件行った。		
社会貢献	0.20	宜野座村教育委員会特別支援アドバイザーの職責を全うする。 沖縄女子学園, 沖縄少年院でのマインドフルネスの指導を恙なく行う。 その他, 依頼される講演等を積極的にこなす。			0.20	左記の業務を全うした他, 15の外部から依頼された講演会等の業務をこなした。 一般向けのマインドフルネス瞑想会を毎週月曜日に開催した。		
管理運営	0.20	コース主任としての職責を全うする。 全学ハラスメント相談支援センターに関わる職を全うする。			0.20	コース主任としてできる仕事を全うした。 全学ハラスメント相談支援センター副センター長としての職務を遂行した。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		中尾達馬	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.35	今までの経験を踏まえて、授業内容をより洗練されたものへと昇華させるべく、授業準備・教材研究を徹底して行いたい(心理学的見解を日常生活に結びつける具体例の提示、双方向的授業になる工夫、視聴覚教材の効果的な使用、など)。また、3・4年次対象のゼミについては、卒業論文執筆や就職支援を念頭においた指導を行っていきたい。		0.35	授業準備・教材研究を徹底的に行った。講義では、毎回、感想を一言以上書いてもらい、双方向的に授業が展開するよう工夫すると共に、これを形成的評価の手段の一つとして活用した。ゼミでは、卒業論文の執筆や就職支援を念頭においた指導を展開した。	
研究	0.30	文科省科研費若手(B)の助成を受けた「発達とアタッチメントから考えるニート・ひきこもりへと至るプロセス」に関する研究を実施する(課題番号:25750377)。日本心理学会や日本発達心理学で学会発表を行うと共に、琉球大学教育学部紀要へ論文を寄稿予定である。		0.30	科研費の助成を受けた調査研究を3つ実施した。アメリカのミネアポリス市で行われたSSP training(2週間)に参加した。また、九州心理学会第76回大会で学会発表を行い、琉球大学教育学部紀要に論文を寄稿した。	
社会 貢献	0.20	免許状更新講習では、必修講習(教育の最新事情)において、「子どもの変化についての理解」について講義を行う。また、Advisory Staff制度に登録を行い、依頼がある場合には発達心理学的内容の講座等を提供したい。		0.20	「専門訴訟事件等の特殊事件のための研究会」(那覇地方裁判所)や「平成27年度 第2回宜野湾市児童福祉支援者研修会」で講演を行い、「第19回沖縄県産業教育フェア「高校生の進路を考える」フォーラム」でフォーラムコーディネーターを、那覇市青少年問題協議会で委員を務めた。	
管理 運営	0.15	教育学部子ども地域教育コースの教育実習委員、3年次指導教員として、全学の教員養成運営委員会委員として、教育学部ならびに生涯教育課程、そして子ども地域教育教室のために、尽力したいと思う。		0.15	教育学部の子ども地域教育コースの教育実習委員、3年次指導教員、全学の教員養成運営委員会委員として、教育学部ならびに生涯教育課程、そして子ども地域教育教室の管理運営に貢献した	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		小嶋 季輝	所 属		教育学部 学校教育教員養成課程 教育実践学専	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.30	講座・教室にて提供している科目やカリキュラムの見直しが進められている。個人として提供している科目について、全体のカリキュラム上の位置づけ及びビジョンとの整合性を再考する一年としたい。 また、三年次のゼミ生の受け入れを開始した。学生全体の傾向として「書くこと」に課題を抱えているように感じられるため、アカデミック・ライティングの資質向上に焦点化し、指導にあたりたいと考える。			0.45	研究室所属の学部生、院生への学位論文指導において、文献の解題及び自身の見解の口述あるいは論述という点において、一定の改善が現れ、指導の成果が見られた。 他方、授業準備においては課題が感じられた。特に夜間及び土曜開講の科目についての準備について、十分な時間を割けて臨めたとは言い難い。時間割の見直しも含め、対応を検討したい。		
研究	0.45	継続している個人研究が発展的課題に移行し、また、学外でのプロジェクトが2つ進行している。本年度はこれらに従事することで、個人研究、共同研究の各プロジェクト共に、それぞれ1つ以上の成果物を出すことを目標に定める。			0.30	個人研究及び共同研究がともに、おおむね計画通りに進められ、また、期待する成果以上のものも得ることが出来た。それらの成果は、9つの論文としてまとめられ、成果物の公表へと繋げることも出来た。		
社会貢献	0.10	教員免許状更新講習の講師を引き受けている。「教育政策の動向についての理解」のテーマいただき、一面的あるいは断片的には把握しがたい動向の全体像を体系的に提供したい。			0.10	教員免許状更新講習においては、広い範囲の担当テーマではあったが、限られた講義時間内で多くの情報を提供することが出来た。講習後の試験では、受講者における習得状況も満足出来るものであった。		
管理運営	0.15	学内委員会では、本年度、新たな委員会に所属した。会の活動の理解と把握に努めたい。また、WG長を引き受けているため、円滑な運営を企図し、WG構成員との密な連絡を心がけたい。			0.15	担当するWGにおいて、責任者として、学内及び学外の関係者との調整が必要となったが、円滑な連携を行うことが出来たとともに、次年度に向けての積極的な協力関係を築くことが出来た。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		岡本 牧子	所 属		教育学部 学校教育教員養成課程 技術教育専修
			職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生支援	0.40	講義における3DCAD等デジタル教材・教具の積極的な活用 4年次指導教員として、進路指導のための年3回の個人面談		0.35	基礎製図では、3CADを用いた課題設定および3Dプリンタを用いた製作、 技術科教育法Bでは、教員採用試験過去問題の解答解説、勉強法の指導 を行った。指導年次学生へは随時コミュニケーションをとり、進路指導及び 進学・就職活動の進捗状況の把握に努めた。取得単位16単位未満学生 へは履修指導を行い、連絡が取れない学生は保護者へ連絡、在籍可能期 間内での履修シミュレーション提示を行った。
研究	0.20	日本エネルギー環境教育学会における研究成果の発表		0.15	学内の若手研究助成を受けることができ、琉球紙の原料となるアオガンピ 栽培の教材化について研究基盤を作ることができた。また学内のURAを活 用した制度を利用し、農学部の教員より栽培方法の観点から申請書の作成 について助言をもらった。
社会 貢献	0.20	青少年科学作品展への出展 沖縄県の技術科研究会への参加		0.30	沖縄県の技術科研究会の研修会に参加し、文部科学省調査官とリンクなど 機械分野の適用教材について懇談した。2月13・14日の青少年科学作品 展へ出展予定、作品展でのアメリカンスクール部門の審査員を務めた。沖 縄エネルギー環境教育研究会の鹿児島調査参加した。
管理 運営	0.20	委員会委員を担当 島嶼防災センターの併任教員		0.20	島嶼防災センター併任教員として、防災ミニシンポジウム及び海洋資源と 海洋問題・防災に関する講演会に参加した。沖縄県教育庁とのプロジェクト MSPにおいて沖縄市越来小学校担当し、学校長や学力推進担当教員と連 携して学力向上に関する学習補助などを行った。学部教育研究WGメン バー、入試委員を担当した。
	0.00			0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定して ください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)								
名 前		森山 克子		所 属	教育学部生涯教育課程 生涯健康教育コース		職 名	准教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウエイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.45	<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援や一人一人の自己実現をめざすキャリア教育を行うために栄養士の活躍する現場(保育園、学校等)と関わる取り組みを行う。 ・「栄養教諭論」「栄養教育実習」を学校現場と調整し実施する。 ・「校外実習」の給食現場を選定して調整して実施する。 ・授業終了時間5分前に授業のふりかえり評価を実施し毎回の授業や演習の理解度を把握して、その次の授業等に活用する。また、その振り返りから指導の必要な学生には、メール等にて指導を行う。 ・担当学年の学生に対しては、個別面談指導を行う。 			0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・「栄養教育実習」現場の担当栄養教諭、担任教諭等と細やかに調整してそれぞれの学生にあった指導をおこなった。さらに、教育実践演習では、近隣公立学校と連携して学生による授業を行った。 ・「校外実習」は学生の自宅から通って指導能力の高い指導者が勤務する調理場を選定しているよう調整し依頼でした。 ・授業終了後のふりかえり個人の学びの自己評価を実施し、コメントした。 ・担当学年の学生に対しては、個別面談指導を実施した。 		
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・海を活かした教育に関する実践研究(外部資金) ・学力向上推進地域事業における委託事業を受託(早寝・早起き・朝ごはん) ・附属小学校との連携による共同研究 ・宜野湾市、宜野湾市保育園長会との連携による食育研究 			0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・海を活かした教育に関する実践研究のこれまでの研究成果を本として出版した。また「海に関する食品を使用した凍結含浸法という新調理の研究」を行い、学会で発表した。 ・学力向上推進地域事業における委託事業を受託(早寝・早起き・朝ごはん)の食育講演会や授業を行った。・宜野湾市との食育研究、附属小学校との連携による共同研究「指導方法の検討」を実施した。 		
社会 貢献	0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・大学公開講座「栄養教諭のための食育を考える講座」 ・大学公開講座「3歳児のための子どもシェフクラブ」の実施 ・沖縄県スポーツ振興審議会委員 ・沖縄県食品の安全安心懇話会委員 ・公益法人沖縄県学校給食会評議員 ・附属小学校健康教育研究部の研究授業の助言者 ・栄養教諭、学校栄養職員の初任者研修会講師 ・栄養教諭10年経験者講習認定講師 ・ ・栄養教諭認定講習講師 ・栄養教諭免許更新講習講師 			0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・大学公開講座「栄養教諭と教諭のための食育を考える講座」の実施した。 ・沖縄県スポーツ振興審議会委員 ・沖縄県食の安全・安心懇話会委員 ・沖縄県食に関する指導推進委員会委員 ・公益法人沖縄県学校給食会評議員 ・宜野湾市食育推進会議議長 ・附属小学校健康教育研究部の研究授業の助言者 ・栄養教諭、学校栄養職員の初任者研修会講師 ・教職員経験者研修講師 ・栄養教諭認定講習講師 ・ラジオ沖縄毎週火曜日ゲスト出演 ・琉球新報食育フォーラムにてパネリスト 		
管理 運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習委員として介護体験等の指導、当該施設へ訪問等 ・栄養教諭部会長並びに、教育実習委員として支援と指導を行う ・南部広域行政組合教育委員会・琉球大学教育学部連携協定事業委員 			0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習委員として介護体験等の指導、当該施設へ訪問等を行った。 ・教育実習委員として支援と指導を行う 		
					0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		島袋 純	所 属		教育学部沖縄島嶼教育コース	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.30	演習科目、卒論指導の充実をはかる。共通教育科目及び専門科目においては、1科目あたりの学生数を最大20名として、さらに多くの提供科目についてグループ学習、対話型学習、アクティブラーニングの手法を導入する。			0.30	演習科目、卒論指導は十分に時間をとった。共通教育科目及び専門科目においては、1科目あたりの学生数を最大20名とすることができた。多くの提供科目についてグループ学習、対話型学習、アクティブラーニングの手法を導入することができた。		
研究	0.50	週20時間の研究時間を確保する。共同著作の編集及び執筆を行い共著を出す。科研費での取り組みを全国的学会において報告する。全国的な学会の理事を可能な限り辞退し、同時に沖縄開催を断わり、研究時間を確保する。			0.25	週平均10時間も研究時間を確保することができなかった。共同著作の編集及び執筆を行い共著を出すことができた。全国学会において報告することができた。全国学会の理事を二つ辞退することができた。しかし、学会の沖縄開催を断ることができず、開催事務のため研究時間の確保に支障をきたした。		
社会 貢献	0.15	新聞雑誌等からのインタビュー依頼、投稿依頼に応え貢献する。市民対象のシンポジウム等への報告を行う。人権及び自治権の侵害状況について調査し報告書を作成して公開し、市民に報告すると同時に国内外の人権機関等に情報提供する。			0.35	新聞・雑誌等からのインタビュー依頼、投稿依頼があまりにも多く、全部に応えることができなかった。市民対象のシンポジウム等における報告はかなり多く行った。人権及び自治権の侵害状況について調査し報告書を作成して公開し、市民に報告すると同時に国内外の人権機関等に情報提供することができた。		
管理 運営	0.05	管理運営及び学部改革等に費やす時間(資料作成、調整、会議出席等)を、週2時間以内に限定する。			0.10	管理運営及び学部改革等に費やす時間(資料作成、調整、会議出席等)を、週2時間以内に限定することがなかなかできなかった。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)									
名 前		真栄城 勉		所 属	教育学部 生涯教育課程		職 名	教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.40	1.「スポーツ実践ボランティア」授業で救命技術と海浜プログラムでの安全管理の理論と実践を習得させる。 2.「体育史」でスポーツ文化の歴史と課題についての知識を習得させる。 3.「体育社会学」で現代スポーツの諸課題についての知識を習得させる。			0.40	1.「スポーツ実践ボランティア」授業で救命技術と海浜プログラムでの安全管理の理論と実践を習得させた。 2.「体育史」でスポーツ文化の歴史と課題についての知識を習得させた。 3.「体育社会学」で現代スポーツの諸課題についての知識を習得させた。			
研究	0.30	1.受託事業「海を活かした教育に関する実践研究」(日本財団講座)に関わる。			0.30	1.受託事業「海を活かした教育に関する実践研究」(日本財団講座)に関わった。			
社会 貢献	0.20	1.障害者のためのサーフィン体験プロジェクトを実施する。 2.教育庁及び自治体から委嘱された委員活動の責務を果たす。 3.各種スポーツ団体等の委員や役員の責務を果たす。			0.20	1.障害者のためのサーフィン体験プロジェクトを実施した。 2.教育庁及び自治体から委嘱された委員活動の責務を果たした。 3.各種スポーツ団体等の委員や役員の責務を果たした。			
管理 運営	0.10	コース主任としての業務を行う。			0.10	コース主任としての業務を行った。			
	0.00				0.00				
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		三輪一義	所 属		教育学部 生涯教育課程 生涯健康教育コース	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.40	<ul style="list-style-type: none"> すべての担当授業科目実施に全力で取り組む。 本コース所属学生(40名)の学部教育に最大限の努力を払う。 本専修所属学生(4名)の大学院教育に最大限の努力を払う。 琉球大学男女ハンドボール部の教育活動に全精力を挙げて取り組む。 			0.40	<ul style="list-style-type: none"> 開講された担当授業科目について、全精力をかけて取り組んだ。 本コース所属学生の学部教育に全力で取り組んだ。 本専修所属学生の大学院教育に全力で取り組んだ。 ハンドボール部の教育活動に全身全霊をかけて取り組んだ。 		
研究	0.20	<ul style="list-style-type: none"> スポーツコーチングに関する基礎的研究で、本年度は指導者養成の方法やその活用法に関する資料を収集する。 ハンドボール指導教本作成に関して、その一翼を担う。 			0.20	<ul style="list-style-type: none"> 指導者資格に関する基礎調査について、第二段階の資料収集を終えた。 ハンドボール指導教本の2017年度完成に向けての執筆分担を行った。 		
社会 貢献	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 大学の公開講座を継続する。 県教育庁及び県体育協会から委嘱された委員活動の責務を果たす。 日本協会・九州学生連盟・沖縄県協会(ハンドボール)の委員や役員 の責務を果たす。 			0.30	<ul style="list-style-type: none"> 公開講座「小中学生のためのハンドボール教室」を開講した。 県教育庁等からの委嘱委員の責務を果たした。 ハンドボールに関する役員等の責務を果たした。 		
管理 運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 生涯健康教育コースの校務分掌の責務を果たす。 			0.10	<ul style="list-style-type: none"> 生涯健康教育コース主任の責務を果たした。 		
					0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
<p>※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。</p>					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		宮城政也	所 属		教育学部 生涯教育課程
			職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果
教育	0.35	学部:「共通教育」「メンタルヘルス論」「学校保健」「生涯スポーツ実技」についてそれぞれの達成目標の具現化に取り組む。大学院:「学校保健学特論Ⅱ」「学校保健学特論演習Ⅱ」について達成目標の具現化に取り組む		0.35	概ね達成。授業評価等を参照し、更なる授業の充実を図る
研究	0.25	論文2編,学会報告(日本健康心理学会,日本学校保健学会)2件を予定		0.25	概ね達成。科研費の分担が新に加わり、更なる研究活動の充実
社会貢献	0.20	1.沖縄県スポーツ推進審議会副会長。2.沖縄県児童生徒の体力向上推進委員会委員長。沖縄県スポーツ医・科学委員会。3.教員免許更新講習。4.教員経験者研修等の前向きな貢献		0.20	概ね達成
管理運営	0.20	研究科専修主任, 全学付属図書館学術基盤選定委員会		0.20	概ね達成。しかし, 全学付属図書館学術基盤選定委員会に関しては, 次年度以降の検討課題が山積
進路指導	0.00			0.00	
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		笹澤 吉明	所 属		教育学部生涯健康教育コース	職 名		准教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウエイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.30	学部における「社会福祉概論」「衛生・公衆衛生学」「健康管理学概論」「サッカー」「生涯スポーツ」「卒業研究」、大学院における「学校保健学特論」、共通教育における「サッカー実技」の全コマを遂行する。教員免許更新講習を開講する。琉球大学サッカー部の監督として学生を指導する。国立台湾体育運動大学(趙学部長)とのサッカー国際交流。教員志望者への指導、大学院進学志望者への指導、一般企業志望者への指導を適宜行う。			0.30	学部・大学院の講義・実技を滞りなく遂行した。教員免許更新講習を「睡眠教育」と「疫学」に関する2コマを実施した。FIFA主催の台中日国際都市対抗交流サッカー大会にて琉球大学選抜の連続優勝および台湾体育運動大学との国際交流を達成した。アジア各国のメディアでも紹介された。学生の進路指導を適宜行えた(既卒者1名が高校体育教諭合格)。		
研究	0.30	「親子で取り組む電子睡眠改善プログラムの開発及びその疫学的検証」に取り組む。親子に睡眠の介入研究を行ない、介入効果のエビデンスを得る。嘉手納飛行場周辺騒音度調査遂行(防衛省)。医歯薬出版の「衛生・公衆衛生学」の改訂。ビーチサッカーの学校教育のカリキュラム化の試みと単行書作成(日本財団)。			0.30	親子で取り組む電子睡眠改善プログラムの開発及びその疫学的検証(科研基盤研究C 15K01658)を採択され、沖縄県の公立小学校を対象に親子への睡眠介入プログラムを実施し介入効果のエビデンスを得た。この結果をリーフレットにまとめ県内の小学校に配布した。嘉手納飛行場周辺騒音度調査遂行(防衛省)できた。医歯薬出版の「衛生・公衆衛生学」を改訂した。ビーチサッカーの学校教育のカリキュラム化の試みと単行書作成(日本財団)を行った。その他2冊の教育関連書籍を出版した。		
社会貢献	0.25	沖縄県教育委員会家庭教育推進委員会委員。防衛省請負業務の「嘉手納飛行場周辺騒音度調査」委員。防衛省、国土交通省、環境省の学術アドバイザー。沖縄県サッカー協会大学委員長・理事(大学リーグ、大学選抜)、九州大学サッカー連盟理事・沖縄県委員長。公開講座「琉大生がサッカーと勉強を教えます！」の代表講師。その他、県内外で「寝る子はでいきやーないんどー」講演。アドバイザー講師。			0.25	全ての委員活動を滞りなく遂行した。県内外で「寝る子はでいきやーないんどー」講演会は平成27年4月より平成28年2月現在16回行われた。		
管理運営	0.15	入試委員、3年次指導教官を務める。			0.15	入試委員、3年次指導教官の業務を適宜行っている。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		高橋 美奈子		所 属		教育学部生涯教育課程		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生 支援	0.40	担当している授業科目についてはシラバスに沿って授業を実施するよう努める。また、卒論指導については、卒論指導学生が2コースにまたがるため、各自の必要性に応じてゼミ以外の時間も適宜行う。指導年次学生およびゼミ生に対しては、必要に応じて進路相談のためのオフィスアワーを開放する。また、年次懇談会を適宜開催し、就職、教職免許等の情報提供を行う。さらに、年次のメーリングリストを活用し、就職・免許関連情報の提供ができるよう配慮する。				0.40	担当している授業科目についてはシラバスに沿って授業を実施した。また、卒論指導については、卒論指導学生が2コースにまたがるため、各自の必要性に応じてゼミ以外の時間も適宜行い、全員、無事卒論を提出できた。指導年次学生およびゼミ生に対しては、必要に応じて進路相談のためのオフィスアワーを開放した。また、年次懇談会を適宜開催し、就職、教職免許等の情報提供を行った。さらに、年次のメーリングリストを活用し、就職・免許関連情報の提供ができるよう配慮した。				
研究	0.45	平成25年度から3年間にわたり採択された科研費助成の研究課題については、最終年度となるので、代表者として課題を計画通り遂行する。また、別の科研費課題についても連携協力者として、計画通りに遂行し、成果を発表する。さらに、学外教育機関との共同研究についても研究成果をとりまとめる。平成24年度から行っている、大学日本語教員養成協議会の事務局としての任務も遂行する。				0.45	平成25年度から3年間にわたり採択された科研費助成の研究課題については、学会で研究成果を発表し、計画通り、データコーパスを取りまとめた。また、別の科研費課題についても連携協力者として、海外の学会で成果を発表し、論文として刊行された。さらに、学外教育機関との共同研究についても研究成果を出版すべく、現在、入稿し、校正中である。平成24年度から行っている、大学日本語教員養成協議会の事務局としての任務も遂行した。				
社会 貢献	0.10	今年度も引き続き、教員免許認定講習の講師を務める。さらに、昨年度立ち上げ、代表として活動した「沖縄JSL児童生徒ネットワーク」でも公立学校の日本語指導担当者等を交え、定期的な勉強会を開催する。				0.10	今年度も引き続き、教員免許認定講習の講師を務めた。さらに、昨年度立ち上げ、代表として活動した「沖縄JSL児童生徒ネットワーク」でも公立学校の日本語指導担当者等を交え、定期的な勉強会を開催した。今年はそのネットワークのメンバーと日本語教育学会秋季大会の特別展示で県外の方に活動を発表した。				
管理 運営	0.05	「子ども地域教育コース」では、4年次指導教員を務める。また、「子ども地域教育コース」の委員会委員を務める。				0.05	「子ども地域教育コース」では、4年次指導教員を務めた。また、「子ども地域教育コース」の委員会委員を務めた。				
	0.00					0.00					
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		吉田 悦治	所 属		教育学部 生涯教育課程 子ども地域教育コース	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.30	多様な教育現場での美術教育実践を通して、教育実践力の基礎を育てる。主なフィールドとして、路地裏楽校(那覇市若狭児童館)、一番街商店街WS(沖縄市)、離島でのアート・アクションWS(座間味村)等でのワークショップを通して、協働と表現活動から生まれる学びの創造に取り組む。 認定試験の問題作成等、教員採用試験に向けた進路支援に取り組む。			0.30	若狭児童館(那覇市)、上田小学校(豊見城市)、一番街商店街(沖縄市)、座間味島(座間味村)でのワークショップ実践等において、場作りや教材開発を中心とした演習授業に取り組んだ。認定試験の問題作成、教員採用試験対策として指導案作成・模擬授業等の指導に取り組んだ。		
研究	0.30	人々と地域を繋ぐ多様な教育・文化実践の可能性を探求する。主に「うみ」「シマ」「場」から生まれる創造活動の実践研究を行い、これまでの成果を出版物として刊行する。 ※「沖縄から発信する各学校での実践支援のあり方と教師教育事業」(日本財団)			0.30	「うみ」「シマ」をモチーフにした教育・文化実践の研究として、これまでの成果をまとめた書籍『うみしまNOTE』の出版に向けて取り組んだ。(3月出版予定) ※「沖縄から発信する各学校での実践支援のあり方と教師教育事業」(日本財団)		
社会 貢献	0.20	授業研究会での指導助言や県内における美術・造形教育に関わる支援に取り組む。			0.20	附属小学校での授業研究会において指導助言を行った。また、障害者週間ポスター審査員等で特別支援教育の支援に取り組んだ。		
管理 運営	0.20	美術教育専修、子ども地域教育コースの教室運営、及び学部図書紀要委員としての関連業務が円滑に行われるよう取り組む。入試業務においても、2つの専修・コースで問題作成等に取り組む。			0.20	2つの専修・コース(美術教育専修・子ども地域教育コース)の教室運営、及び学部図書紀要委員の業務において、円滑に行われるよう取り組んだ。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前		金城 昇	所 属	教育学部 生涯教育課程	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.20	行動科学や行動経済学を基礎とした新たな健康教育プログラムの開発と実践を進める。健康心理学、ライフスキル教育の講義プログラムを改良し実践する。学校・地域健康教育を広げるためライフスキル教育・行動科学・行動経済学を基礎とした健康教育をJICA海外研修プログラムへ活用し貢献する。		0.15	行動科学や行動経済学を基礎とした新たな健康教育プログラムの開発しと実践的に検証した。健康心理学、ライフスキル教育の講義プログラムを改良し実践した。これらをもとに学校・地域健康教育を広げるためライフスキル教育・行動科学・行動経済学を基礎とした健康教育をJICA海外研修プログラムへ活用し、アジア地域、アフリカ地域、中南米地域の研修に貢献した。	
研究	0.10	恩納村(地域健康教育), 宜野湾市・読谷村(介護予防事業)の受託研究を引き続き受けるとともに, 市町村民の健康づくり・介護予防事業を推進する。次年度開催の日本健康教育学会沖縄大会実行副委員長として準備する。沖縄県一括交付金事業健康行動実証モデル事業を推進する(12市町村及びその管下の小学校と連携)。		0.05	恩納村(地域健康教育), 宜野湾市・読谷村(介護予防事業)の受託研究を引き続き受けるとともに, 市町村民の健康づくり・介護予防事業を推進した。2016年開催の日本健康教育学会沖縄大会実行副委員長として準備を進めている。沖縄県一括交付金事業健康行動実証モデル事業を推進中である(12市町村及びその管下の小学校と連携)。その成果は、日本健康教育学会、日本疫学学会等にて報告した。2016年度が最終年度となる。	
社会 貢献	0.10	健康おきなわ21策定栄養・運動部会長として貢献する。ひきつづき西原町・うるま市・宜野湾市健康づくり推進会議委員, 宜野湾市国保運営協議会会長, 地域密着型サービス運営委員としてつとめる。JICAアフリカ, 中南米地域母子保健強化コース講師として協力する。		0.05	西原町・うるま市・宜野湾市健康づくり推進会議委員, 宜野湾市国保運営協議会会長, 地域密着型サービス運営委員として会議の運営や協議を行った(各2回づつ)。JICAアフリカ, 中南米地域母子保健強化コース講師として貢献した。	
管理 運営	0.50	附属小学校校長として附属学校の運営にあたる。		0.70	附属小学校校長として附属学校の運営にあたった。	
進路 指導	0.10	コース・ゼミ学生の進路指導や就職活動に努める。学部学生・院生の指導及び就職活動等の指導にあたる(4年次指導教員)。		0.05	コース・ゼミ学生の進路指導や就職活動に努める。学部学生・院生の指導及び就職活動等の指導にあたった(4年次指導教員)。	
計	1.00			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		田 吹 亮 一	所 属	教育学部 生涯教育課程 自然環境科学教育コース	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.45	学部、大学院の講義については、これまでも配布してきた授業内容を記したテキストと資料集のバージョンアップに努める。また、パワーポイントによる授業で使う個々のスライドをチェック、受講生からみて分かりやすいものにする作業を継続する。課題研究を行う学部生(4年)2名の指導を行う。自然環境科学教育コース3年生の指導教員として進路相談に当たる。		0.40	学部の授業については、これまでも配布してきた授業内容を記したテキストと資料集のバージョンアップを行った。また、パワーポイントによる授業で使う個々のスライドをチェック、受講生からみて分かりやすいものにする作業を行った。課題研究を行う学部生(4年)2名の指導を行った。自然環境科学教育コース3年生の指導教員の役割を果たした。	
研究	0.40	今年度中に2本の論文の投稿を行い、掲載されるようにする。 ”		0.40	1本の論文(田吹・津波古, 2015)が昨年10月発行の教育学部紀要に掲載された。2本、中央誌上で公表するため継続して作業を進めているが、今年度中の投稿は無理なため、次年度、投稿予定である。	
社会 貢献	0.15	沖縄県文化財保護審議会専門委員、沖縄県児童生徒科学作品展審査委員等の学外の職務に対応する。		0.15	沖縄県文化財保護審議会専門委員(専門委員会2度出席)、沖縄県児童生徒科学作品展審査委員(1日)および附属小研究発表会の理科(分科)の共同研究者を務めた。	
管理 運営	0.00	(各種委員会委員等、講座内の'ローテーション'により本年度は外れる)		0.05	教員人事に関し、学部の選考委員(1回)、選考委員長(1回)を務めた。	
				0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		富永 篤	所 属		教育学部 生涯教育課程 自然環境科学教育コース
			職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生支援	0.40	<p>学生が卒業後、必要とされるスキルや能力を身につけられるような講義、実習を行う。学生が面白く、わかりやすいと感じられる内容を目指し、また講義、実験のレベルも一定水準以上のものになるように努力する。研究室の学生、大学院生の就職、進学支援の相談にのり、目標実現のために可能な限り協力する。</p>		0.30	<p>学科の学生向けの講義や実験では、新課程で新しく入った内容を講義、実習に盛り込み、教育現場で役立つ情報や経験を提供できるように心がけた。特に実習では、学生が、経験しておけば、将来、役に立つと考えられる内容を重点的に取り組み、幅広い分野の内容を取り扱った。研究室の学生に対しても、研究、進路の指導を含め積極的に関わったが、人数が多く、一人一人にきめ細やかな対応が十分にできなかった。</p>
研究	0.40	<p>両生類の系統分類、生活史に関する研究について学術論文1報の発表を目標とし、学会で発表を行う。採択中の科研費の研究課題の成果発表を心がける。現在応募中の3つの民間助成の研究準備をすすめ、採択された場合に円滑に研究を進められるようにする。</p>		0.40	<p>国際誌に2報が受理され、2報を投稿中である。受理されたもののうち1報は現在進めている科研費関連である。和文誌(紀要を含む)に2報を発表した。国内の学会、研究会で3回の発表を行った。学内の公募に2つの研究課題を応募し、1つが採択され、研究を進めることができた。</p>
社会 貢献	0.10	<p>小、中、高等学校との連携、環境教育活動、自然環境の保全活動へ積極的に参加、関与する。特に県のレッドデータブックの改訂に関する希少生物の生息情報の収集、外来種対策に貢献する。また所属学会の各種役職を仕事が滞ることのないようにこなしていく。</p>		0.20	<p>5つの学会、研究会の英文誌編集補助、庶務幹事、運営委員、地区委員を担当した。環境省の外来種対策に共同研究として参画したほか、県のレッドデータブック改訂の委員、県の外来種対策検討会の委員を担当した。学部の地域連携事業の一環として小学校での取り組みに協力した。</p>
管理 運営	0.10	<p>担当する全学の委員会、学部の委員会の会議にできるだけ出席し、委員会の運営のために尽力する。</p>		0.10	<p>出張などで、会議に参加できないことも時折あったが、学部の学生生活委員会の委員、全学の2つの委員会の委員として、求められる職務をこなした。</p>
	0.00			0.00	
計	1.00	<p>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</p>		1.00	<p>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</p>
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		照屋 俊明	所 属		教育学部自然環境科学教育コース	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.25	化学の講義では動画や分子模型を補助教材として用い、有機化合物の三次元構造をより深く理解できるよう試みる。また学生実験では簡単に手に入る材料を用いた実験を行い、生徒の興味を引き出すよう心掛ける。また研究室に配属された修士学生2名、学部4年生と密にディスカッションし、学生の希望、目標などを把握し本人の希望に沿った進路に進むことが出来るよう適時助言する。			0.25	化学の授業では分子構造の説明の際、動画や分子模型を補助教材として用い、有機化合物の立体構造の理解を深めるよう努めた。学生実験で食材を用いてヨウ素でんぷん反応を行ったところ、身近な食素材に興味を持ったという学生が多かった。また課程2名、4年生2名の研究指導を行った。研究指導においては週1回の報告会を実施し、学生と密にディスカッションを行い、それぞれの学生が本年度の課題を遂行した。4年生1名は修士課程に進学する予定である。		
研究	0.55	宜野湾市周辺の海岸で採集した海洋ラン藻抽出物が骨格筋の糖取り込み促進作用を示しているので、この抽出物に含まれる活性物質の分離精製を進め、その化学構造式を明らかにする。			0.55	宜野湾市周辺の海岸で採集したラン藻から骨格筋の糖取り込み促進物質を単離した。各種スペクトルを解析したところ、得られた化合物が新規化合物であることが明らかとなった。		
社会貢献	0.10	沖縄県宜野湾市周辺の海岸で採集した海洋ラン藻が生産する薬理活性物質を解明することで、未利用海洋資源の付加価値を高めることが出来ると考えられる。			0.10	未利用生物資源である沖縄産ラン藻から骨格筋への糖取り込みを促進物質を単離した。得られた化合物は糖尿病治療薬のリード化合物となる可能性があり、沖縄県の未利用海洋資源の付加価値が高くなったと考えられる。		
管理運営	0.10	自然環境科学教育コースの共同研究推進委員としての職務を遂行する。また琉球大学環境・施設マネジメント委員会化学物質管理専門部会委員、機器分析支援センター運営委員の職務を遂行する。			0.10	自然環境科学教育コースの共同研究推進委員としての職務、琉球大学環境・施設マネジメント委員会化学物質管理専門部会委員、機器分析支援センター運営委員の職務を遂行した。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			